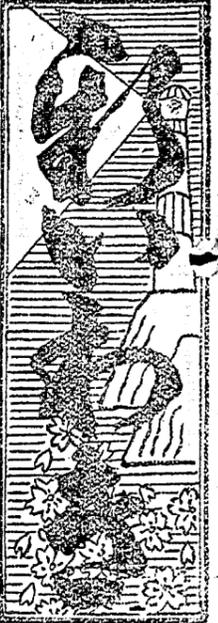


刊夕 日三十月三



日刊紙日曜版... 郵税十五銭一月廿五銭... 印刷部 印刷部 印刷部

常識講座

アウタルキは獨逸語で自給自足の經濟のことだ、大きく云へば...

難出来る、尙工費二萬圓のうち半額は農林省の補助で残り十萬圓のうち五萬圓が縣費補助、五萬圓は地元負擔となつて居り地元では既に五萬圓を投出す肚をきめて居るから今回の擴張事業は容易に行はれるものと見られる

飛んだ裁判長殿

大山裁判官の花形 住居侵入で平署に檢舉

裁判官が警察に引つぱられて取調べを受けてゐる。去る九日から平町警察署で開催中の大山裁判官一座の花形役者...

赤井第二高等卒業生の平町見學

石城郡赤井第二小學校では本年の高等科卒業生八十名に對し十三日平町に於ける官衙工場その他を視察教師の引率で見學させ午前八時から訓育院、裁判所、郵便局、片倉製糸、平機關庫等午後四時過ぎに及ぶまで參觀した

平驛三月上旬貨物量は減じて増収入

平驛に於ける三月上旬貨物は左記の取扱ひ高で前年同期に比すれば發送に於て七百六十四噸、到着で一千五百二十八噸を減じてゐるが収入では三百四十九圓を増収した斯く量に於て非常な減少を見ながら収入を増加せるは内郷村の磐城炭礦が平驛に輸送する同礦發電所用の燃料石炭並に焚穀の逆輸送が從來毎日十五車を算したものが近來僅かに三車位に止まるのが減量の最大原因で他の一般貨物は年と共に増加をたどり且つ遠距離輸送が多くなつたので収入増を見てもゐるのである

分會總會

石坂少將の講義

石城郡湯本町の入山炭礦在郷軍人分會では明十四日正午から同礦自治會館に總會を開催されるが同分會は五百二十名の會員を現在する縣下稀に見るもので當日は豫て申請中であつた分會總會第一條から三十二條に及ぶもの並びに財産管理規程第一條から第十條に及ぶものが本月一日付で支部長の承認を受けた實施報告及び松田分會長の訓示ありて會務諸般を附録の管だが午後二時から本部特派の陸軍少將石坂弘毅氏より時局に關して熱烈的な講演がある

地元の要望貫徹 豐間港更に修築

工費二十萬圓で施行

豐間漁港は昭和七年から三ヶ年繼續事業として十三萬六千五百圓の工費を投じて築港工事を完成したが尙且つ港内の水深は一米乃至二米に加ふるに異時化を防ぐに最も必要なる東側防波堤がなく現在の防波堤も低く幾多改善すべき點が多いので同村關係者はかねて第二期工事の施行方を陳情中であつたがこの要望が漸く容れられ昨年度は十二年度に工費二十萬圓で修築を行ふことに決定、商工水産課尾崎主任技師が調査來同港の實地調査中であつたが調査完了する十日歸郷した、今回の第二期工事が完成すれば三十噸級以上の漁船百隻、三十噸以下の漁船三百隻の收容が可能となり四倉、江名とともに縣下の三大漁港となるわけである

中堅職工を派遣 横須賀工廠見學

軍需工業品製作に 萬全期す平鐵工組合

平鐵工機械工業組合では軍需工業品の製作に乗り出すことになり今月末には縣から指導員として海軍豫備中尉山本正雄氏が來平、引つゞき水住し製作指導に當ることになりつたので組合員の中堅職工をして横須賀海軍工廠を見學せしめ近代軍需工業の實際知識を與へ今後の製作に資するたため左記五名を選んで来る十六日前記山本指導員若しくは組合顧問吉田賢吉氏引率の下に出發する

小野町長令息 おめでた

小名濱町長小野晋平氏令息が去る二月二十八日朝茨城縣水戸市在の實家へ年始に行くと稱して家を出たまゝ、行方不明

ヒス女房家出

四倉町仲木松本龜吉妻チヨ(三)は去る二月二十八日朝茨城縣水戸市在の實家へ年始に行くと稱して家を出たまゝ、行方不明

小名濱町町會

小名濱町の總町會は十六日午前十時招集

水講卒業式

小名濱町立水産講習所の第二期卒業證書授與式は二十日午前九時から舉行する、卒業生は漁撈科十二名、製造科十名計二十二名

植田校同窓會

植田小學校の同窓會を二十四日午後一時から開催

發電工事人夫 募集

平町職業紹介所へ伊達郡立子山及び飯野村の東北振興發電所工場から二百名の土工募集を依頼して来た

負債整理組合

設立指導會開催

落盤で惨死

湯本町八仙、入山炭礦坑夫伊藤次郎(四)は十二日午後三時頃入坑作業中落盤で惨死

泉村更生組合

泉村本谷部落では今度農産加工と畜業の更生組合を組織、組合長に阿部登吾氏を舉げた

募集

平町職業紹介所へ伊達郡立子山及び飯野村の東北振興發電所工場から二百名の土工募集を依頼して来た

落盤で惨死

湯本町八仙、入山炭礦坑夫伊藤次郎(四)は十二日午後三時頃入坑作業中落盤で惨死

募集

平町職業紹介所へ伊達郡立子山及び飯野村の東北振興發電所工場から二百名の土工募集を依頼して来た

